

切れ目のない支援体制の構築を目指して
 ～「個別の教育支援計画」の様式統一に向けた取組～

用による引き継ぎ」が必要不可欠であることを再確認した上で、域内各校で作成している個別の教育支援計画の様式を統一してはどうかという提案がなされました。各町村の垣根を越えて個別の教育支援計画の様式を統一する試みは、福島県内でも他に類を見ない南会津ならではの取組です。この一年は、様式統一の実現に向け、小中学校の先生方から意見をもらいながら各教育委員会ごとに協議を進めてきました。2回目の協議会では、各教育委員会が持ち寄った意見をもとに検討し、南会津版「個別の教育支援計画」の様式が完成しました。現在、4月から域内の小・中学校にて新様式を施行できるよう、各教育委員会が手を取り合って準備をしています。南会津域内の支援が必要な子どもたちのために、切れ目のない支援体制づくりに御協力をお願いします。

去る1月31日(木)、御蔵入交流館にて第2回特別支援教育体制促進協議会が行われました。1回目の協議会では、切れ目のない支援を継続していくためには「個別の教育支援計画の作成と効果的な活



社会教育「地域でつながる家庭教育応援事業」の充実に向けて～家庭教育企業研修会～

去る11月7日(水)、御蔵入交流館を会場に社会福祉法人南会津会による「家庭教育応援企業研修会」が行われました。この研修会は、企業と連携して家庭教育力の向上を図ることを目的としています。講師には、横田智史氏(株式会社ペンギンエデュケーション代表取締役)をお招きし、労働力の減少や人材確保が困難な中でのワークライフバランスについて講演をいただきました。講演内容等の一部を御紹介します。

- ① 子どもを取り巻く保育・教育環境とこれから
 - ・少子高齢化 ・核家族化 ・共働き世帯の増加 ・人工知能の発達 ・低い自己肯定感 など
- ② 時間に制約のある社員の増加
 - ・「仕事」「家事」「育児」+大「介護」時代
 - ・10万人の離職・転職(介護・看護が理由)
- ③ 女性活躍促進に関する意識調査
 - ・仕事を辞めた理由→「出産・育児」や「結婚」
 - ・女性が働き続けるために必要なこと
 - 働きやすい労働条件
 - ワークライフバランスのための職場の支援制度の充実
 - 労働条件面で男女差をなくすこと
- ④ イクボスとは
 - 職場で共に働くスタッフのワークライフバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司



受賞の記録

- 【文部科学省】**
 ○社会教育功労者 堀金 保男
 ○優秀教職員 南郷小学校教諭 三瓶 克
 明和小学校教諭 菅野 総一
 ○優良PTA文部科学大臣表彰 旭田小学校父母と教師の会
 ○子ども読書活動優秀実践校表彰 只見小学校
 ○子ども読書活動優秀実践図書館表彰 南会津町図書館
- 【福島県】**
 ○福島県認定書事業表彰 特別賞 檜枝岐小学校
 檜枝岐中学校
 ○交通安全優良学校 荒海中学校
 ○福島県PTA連合会会長表彰 只見小学校
- 【福島県教育委員会】**
 ○地方教育行政功労者 齋藤 修一
 ○学校教育功労者表彰 田島中学校長 馬場 俊忠
 ○社会教育関係団体表彰 明和小学校父母と教師の会
 ○学校保健関係団体 只見町学校給食センター
 ○優秀教職員 荒海中学校教諭 星 美和
 只見中学校主査 梁取 勝伸
 ○優秀教職員(団体)の部 朝日小学校
 ○福島県教職員研究論文 入選 朝日小学校

- 【福島県教育委員会】**
 ○学校関係緑化コンクール〔学校環境緑化の部〕
 学校緑化推進委員会会長賞 伊南小学校
 ○食育推進優秀校表彰 優良校 只見小学校
 ○ふくしまっ子ごはんコンテスト 学校賞 田島小学校
 学校賞 明和小学校
 学校賞 荒海中学校
- ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト事業
 ☆ふくしまっ子体力向上優秀 明和小学校
 ☆ふくしまっ子元気大賞 朝日小学校
 南会津高等学校
 ☆なわとびコンテスト(中学年9人以下の部)
 第1位 南郷小学校 第3学年
- 【福島県学校保健会】**
 ○学校保健功労者 只見中学校養護教諭 酒井るり子
- 【福島県学校歯科医師会】**
 ○学校歯科保健優良校表彰 優秀賞 只見小学校
 優秀賞 南会津中学校
- 【その他】**
 ○時事通信社「教育奨励賞」 優良賞 朝日小学校





『学びのスタンダード』
推進教師として
下郷町立下郷中学校
教諭 万崎 公彦

学びのスタンダード推進教師として、下郷町の小学校はもちろん、筑波大学附属中学校、金沢大学附属中学校の授業など、多くの授業を参観させていただきました。小学校の授業参観では、板書による思考の可視化、児童一人一人への見通しの持たせ方、また授業をコーディネートする力など、参考になるところがたくさんありました。小中連携の大切さを改めて感じました。

筑波大学附属中学校では、「中学生が語る深い学び」について話がありました。生徒が、家族や先生方に言われた「私を変えた一言」の中で印象に残った言葉です。『絶対的な解ではなく、最適解を求めろ。何を優先すればいいのかを考え、その中でベストを尽くせ!』

最適解とは、現状の中で最も適した答えという意味です。我々の現状を見ると、正解は数多く存在します。しかし、最適解というのは一つしかありません。

自己マネジメント力の育成を通して、児童生徒が今の自分に最も適した答えを見つけることができる、そのための思考力・判断力・表現力を育てていかなければならないと感じました。クリティカル・シンキング(=真実に到達する力の考え方)、つまり「なぜ?」と常に考える姿勢を育てたいと思います。



「新採用教員として」
福島県立南会津高等学校
教諭 猪狩 真紀
(英語)

一年間を振り返って思うのは、「何事も経験あるのみ」ということです。よく言われることとはいえ、自身が実感できるまでにはそれなりに時間を要しました。

最初は、授業での成功よりも失敗ばかりを反省する日々でしたが、先輩の先生方から「若いうちはどんどん失敗した方がいい」と助言をいただき、意味のない失敗ではなかったと思えるようになりました。今後は、毎日の授業が生徒との一本勝負だと思って、すべての経験を糧にできるよう努力していきたいと思います。

もうひとつ印象に残っているのは、部活動です。ルールもよく分からない競技を受け持つことに不安はありましたが、それでもひたむきに練習する生徒の姿を見ているうちに、生徒と一緒に学び、経験を積もうという考えに変わってきました。

私にとってこの一年は、まさに嵐のように過ぎていきました。この一年の経験を自分の原点として、どんな経験でも、長い教員生活の中で生徒や自分のために生かせるはずと信じ、「新たな嵐」の中でがんばっていききたいと思います。



作品紹介

平成30年度「ふくしまを十七字で奏でよう 絆ふれあい支援事業」

- ◇絆部門く県優秀賞作品>
「なむあみだ たきたてごはん あげ申す」
「おがんだら みんなそろって 朝ごはん」
南会津町立伊南小学校 4年 大桃玄土さん
母 大桃美子さん
- ◇絆部門く県佳作作品>
「夕日背に 母と眺める 僕の町」
「我が町と つぶやく息子に 胸あつく」
南会津町立田島中学校 2年 湯田依吹さん
母 湯田美奈さん

平成30年度「ふくしまっ子ごはんコンテスト」

- ◇小学校上学年の部く県優秀賞>
「1日元気! スタミナ朝ごはん」
南会津町立田島小学校
4年 宮島清良さん
- ◇小学校上学年の部く県優良賞>
「野菜たっぷり食欲もりもり朝ごはん」
下郷町立旭田小学校
6年 佐藤桃奈さん



総務の窓

「早朝出発等定額」の要件について

南会津教育事務所の郡司です。今回は給与・旅費に関する注意点として、旅費に係る「早朝出発等定額」の取扱いについてお知らせします。業務の際の参考としてください。

「早朝出発等定額」は、県内の在勤地内旅行及び居住地等の地域内における旅行を除き、県内外、距離区分にかかわらず、早朝出発、または、夜間帰着などに該当する場合に支給されます。したがって、早朝出発などに該当する場合でも在勤地内、または、居住地内の旅行については支給対象となりません。

中体連体育大会などの準備で早朝から用務に従事するような場合もあるかと思いますが、「早朝出発等定額」の該当にならないこともあるのでご注意ください。

今後も適正な事務にご協力
よろしく申し上げます。



編集後記

今年は、例年のない暖冬により、南会津にも早い春が訪れそうです。もしかしたら、新元号を迎える前に、南会津の桜の見頃が過ぎているかもしれませんね。

年度末のお忙しい中、玉稿をお寄せくださった皆様に心より感謝申し上げます。